



オンライン上映&トークイベント

A Kali Temple Inside Out

カーリー寺院の人々その内と外で

Dipesh Kharel・Frode Storaas 監督 2018年

2021年英国王立人類学協会 (RAI) The Richard Werbner Award 受賞作

3/11[±] 14:00-16:30

オンライン開催(要申込) 無料
ZOOM/YouTube FREE

さまざまな宗教問題が報じられるインド。そこでは実際のところ、どんな信仰のもとに、どんな日常が営まれているのだろうか。静岡県立大学 CEGLOS では、映像人類学の手法で UP 州カーンプルのとあるヒन्दゥー寺院周辺の人々の日々を映し出したドキュメンタリー『A Kali Temple Inside Out』をオンライン上映し、ディペシュ・カレル監督とインド研究者の宮本久義氏を迎えてトークイベントを開催します。一つの寺院を核に、時にイスラーム聖人廟やシク教のグルドワラーへと、多様な広がりを見せる人々の信仰と生活の様一まさに“A Kali Temple Inside Out”を伝える貴重な映像に、新たに日本語字幕を加えての上映です。ぜひご参加ください。

プログラム

program

- 14:00 …… ご挨拶とご説明
- 14:10 …… オンライン上映
- 15:45 …… トークイベント(日本語と英→日通訳)
(16:30 終了予定)

ゲストスピーカー

guest speaker

ディペシュ・カレル (Dipesh Kharel)

映像人類学者・映像作家。東京大学情報学環客員研究員・非常勤講師。ネパール、日本、インドなどをフィールドに、映像人類学の成果を数多く発表している。近作に、コロナ禍で帰国困難になったベトナム人を受け入れてきた寺院を扱う『徳林寺の空の下〜別れと出会い〜』(2022)がある。

宮本 久義 (みやもと ひさよし)

元東洋大学教授。インド哲学・ヒन्दゥー教思想研究者。サーンキヤ、ヨーガの思想から、聖地と巡礼、多宗教・多文化共生論まで、インドの思想と実態を幅広く研究する。著書に『ヒन्दゥー聖地 思索の旅』(2003年)、『宗教の壁を乗り越える—多文化共生社会への思想的基盤』(共編著、2016年)など。

司会：富澤 かな(静岡県立大学 CEGLOS)



本作の予告編 ▶ <https://youtu.be/OZtGHBMWHM8>

Zoom と YouTube を利用したオンラインイベントです。

参加方法 3月9日(土)までに右記の URL または二次元コードからお申込みください。 <https://bit.ly/Kali0311>

(Zoom 配信定員を超えた場合は YouTube によるライブ配信をご案内する場合があります)

